

令和2年度労働福祉審議会開催結果について

開催方法：書面による開催

議題1 狭山市労働福祉審議会正副会長の選出について

審議結果 会長 照井勝美委員（狭山工業団地工業会会長）

副会長 照井直委員（連合埼玉西部第四地域協議会、本田技研工業株式会社）

※委員の皆様の賛成をいただきましたので、事務局案のとおり可決とさせていただきます。

議題2 狭山市勤労者福祉サービスセンターのアンケート調査結果について（報告）

意見等

- ・（委員）今後も多くの勤労者がセンターを利用したくなる企画運営を期待します。
- ・（委員）問7においての※部分で「会費は月額300円を維持し、サービスを縮小することを優先」とあるが、具体的にどういうことですか。
（事務局）狭山市勤労者福祉サービスセンターの運営を今後とも継続するにあたり、将来的には「サービスを維持するためには、会費を上げることを優先する」のか、「会費は月額300円を維持し、サービスを縮小することを優先する」などを検討する場面があるものと見込まれます。
- ・（委員）利用状況は変化するものですが、多岐にわたる事業はこれまでのニーズから実施されてきたものと思います。アンケート実施により内容を見直す事も必要ですので、方向性は良いと思います。
- ・（委員）会費の額についての質問は、実感を持って答えるのは難しいと思われます。
- ・（委員）今後の運営として挙げられている対応で、問題無いと考えます。
- ・（委員）健康に関することは、人間ドックや予防接種は身近に必要なこととして希望者がありますが、健康づくりや講演会、ゴルフ等は1人で参加できない人が多いようです。ネット社会になりつつある世の中でネットの利用方法の再検討が必要に思われます。

議題3 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う労働施策等について（報告）

意見等

- ・（委員）顧客の外出自粛が年明けより厳しくなる状況なので、国、県に再度、臨時交付金の活用を要望願いたいと思います。
（事務局）国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、さやまの事業者応援金の第2弾を2月22日より実施いたしました。市内で操業している小規模事業者及び個人事業主のうち、売上高が前年同月比から20%以上減少した事業者を対象として、一律10万円の応援金を給付するものであります。
- ・（委員）日々変化するコロナ禍で事業者応援金給付事業の実施期間5月18日～8月

31日を過ぎての秋冬イベント関係者が対象になれなかった事。また、ITなど情報を入手する手段が少ない事業者に情報が行き渡らなかった事例を耳にします。そんな中、事業者向け無料相談や第2回緊急事態宣言時、対象飲食店に対しての戸別電話が非常にありがたかったとの声がありました。

(事務局) さやまの事業者応援金第2弾の事業者への情報提供につきましては、今後も工夫しながら情報が行き渡るように周知に努めてまいります。

- ・ (委員) 申請件数に、深刻な状況が見てとれます。実施期間後も更に悪化していると思われる。関わられている1人1人の方の生活も大変な事になっているのではないかと推測されます。簡単に収束しないと考えられるので、市の予算の組み方も今までとは思い切って変更しなくてはならないのではないかと思います。
- ・ (委員) 休業手当を受けられない方々に対する休業支援金・給付金の申請の要件が緩和され、シフト制で働いていた方等も支給決定を受けやすくなりました。雇用維持の為(少しでも)事業主、従業員の方々に周知をして欲しいです。

(事務局) 新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響により休業させられた中小企業の労働者のうち、休業手当の支払いを受けることができなかった労働者に対して支給するものでありますが、2月10日号の広報さやまで制度の周知を図ったところであり、今後も事業者、従業員の方々への情報提供につきましては、工夫しながら情報が行き渡るように周知に努めてまいります。

- ・ (委員) 申請が難しいという事は耳にしておりましたので、適切な対応だったと考えます。
- ・ (委員) 今後も狭山市の事業者に対して適切な対応を図っていただきたいです。
- ・ (委員) 狭山市は他市に比べて給付はスピードがあり、市民は喜んだと思います。これから長引く自粛に対して、特に飲食業の支援が必要に思います。

その他意見等

- ・ (委員) 今回の様な非常時には、会議を数回開催する事も必要だったのではないのでしょうか。今回のご連絡時期が遅かったので、何度かお問い合わせしようと思いましたが、お忙しく大変な状況でお過ごしと考え、ご連絡は控えさせていただきました。職員の皆様、委員の皆様ともどもご自愛下さり、また対面でお会い出来ます時を楽しみにしております。お世話様でした。

(事務局) 1月下旬から2月上旬に審議会の開催を予定しておりましたが、2度目の緊急事態宣言が発出され、審議会の開催を対面の開催から書面での開催に変更させていただいたものです。

- ・ (委員) 防災狭山で放送されている市民(新成人等)のお話は良いアイデアだと思います。「残念な状態が早く終わるように自分も気を付けよう」と気持ちが引き締まります。